市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。
3月定例会では、3月15日・18日の本会議で17人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です（掲載は質問順、6ページまで続きます）。

防犯灯などをLED化するためにリース方式の導入を

公明党　井上　賢二

問　福島第一原子力発電所の事故を受け、エネルギー政策の転換が課題となっている。省エネ対策として、LED照明の導入は積極的に検討すべき課題と考えるが、本市の公共施設や防犯灯への導入状況はどうなっているか。また、市内の防犯灯を全てLED化するには、多額の初期投資が必要で財源確保が難しいが、新たな負担を必要としない方法として、10年間のリース契約がある。電気料金以外の維持管理経費を10年間定額化でき、付け替え工事を市内業者が行えば、雇用や経済効果も期待できるなどの利点があるが、導入を検討しないか。

答　市では、施設の維持管理や整備の際に、LEDなどの高効率照明器具を積極的に導入している。主な施設への導入状況は、市庁舎50本、図書館やコミュニティセンターなどで約500本、学校60本などとなっている。また、今年3月時点で、市内には防犯灯が7020灯設置されており、そのうち423灯をLED化した。リース方式は、照明や関連機器の価格や電気料金の変化など、リースに関わる環境変化や県の実施事例、本市に置き換えた場合の省エネや二酸化炭素削減見込みなどを鑑みて研究したい。

（ほかに「教育関係について」「高齢者福祉について」を質問）

ロケ誘致やグルメ開発による地域活性化の推進方法は

改革フォーラム　安藤多恵子

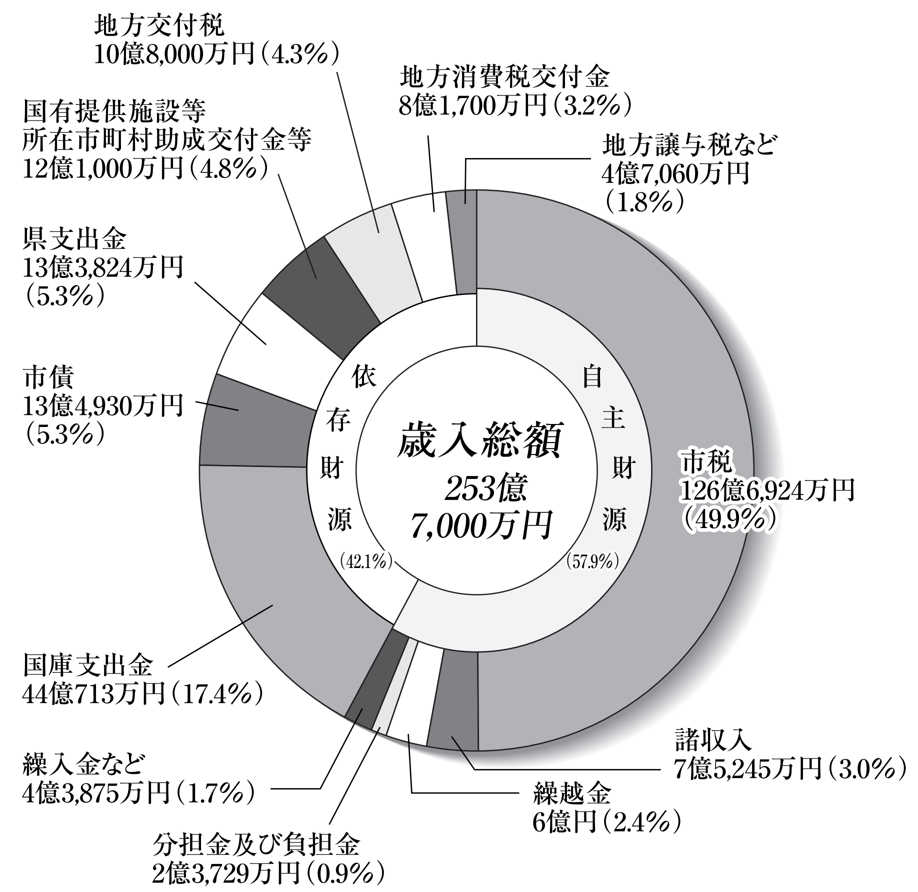
問　来年度から、シティセールスの担当部署が配置されるなど、本市の魅力づくりに正面から取り組もうという姿勢は高く評価する。その一環として行われた、ロケ誘致とグルメ開発による地域活性化をテーマとした講演会には、多くの市民が参加し、関心の高さがうかがえた。この状況も踏まえ、今後、どのように取り組んでいくのか。また、来年度予定している事業の予算と内容はどうなっているのか。ロケ誘致やグルメ開発には、相当な努力が必要で、広く市民に呼び掛けて進めなければならないと考えるがどうか。

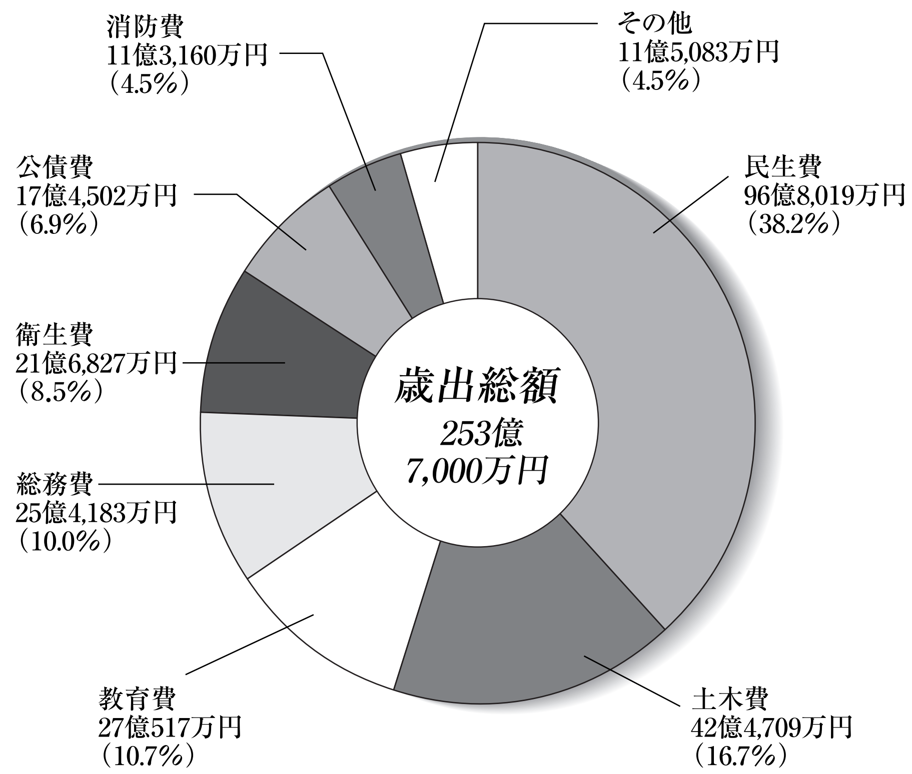
答　来年度から、（仮称）あやせ商業者パワーアッププロジェクト事業として、ロケ誘致やグルメ開発をテーマとした地域活性化事業を展開する。具体的には、市内若手商業者を中心に、地域コミュニティーの担い手となる人材を育成し、多様な分野からの協力を得ながら進めていく。また、予算は300万円で、担い手育成のためのアドバイザー費用やロケ誘致のための広告宣伝費用などが主なものである。若手商業者を中心に始めるが、事業が進行する過程では、協力者を増やし、全市的な取り組みに広げていきたい。

（ほかに「市民参画や協働の今後のあり方について」「老朽化した施設の対応について」を質問）

市公式マスコットキャラクター
「あやぴぃ」

一般会計予算歳入・歳出の状況





平成25年度各会計の予算規模

会計名		予算額	対前年度比	
			増減額	増減率
一般会計		253億7,000万円	△14億円	△5.2%
特別会計	国民健康保険事業	100億7,500万円	4億8,500万円	5.1%
	下水道事業	31億1,200万円	1億5,100万円	5.1%
	深谷中央特定土地区画整理事業	7億9,900万円	9,700万円	13.8%
	介護保険事業	37億1,500万円	1億5,000万円	4.2%
	後期高齢者医療事業	7億2,300万円	5,700万円	8.6%
	計	184億2,400万円	9億4,000万円	5.4%
合計		437億9,400万円	△4億6,000万円	△1.0%